

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	自閉症の生物学的統合研究
研究代表者	内匠 透（国立研究開発法人理化学研究所・脳科学総合研究センター・シニアチームリーダー） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、これまで自閉症患者で報告されている DNA の CNV (Copy number variations : コピー数多型) 異常を、ゲノム編集技術を用いて網羅的にモデル細胞を作成し、培養下でシナプスの変化につき解析し、モデルマウスの作成に発展させた上で、これらマウスのイメージング解析や行動解析を通じ自閉症の神経回路異常の本体に迫ろうとするもので、独自性も高く、優れた研究として評価できる。一方、どの CNV の異常を優先して解析するのか、また行動解析で得られる表現型の解釈などの戦略にも疑問が残る。さらに脳腸管連関の解析を他の解析結果とどのように関連づけるかについては未知な部分が多い。しかしながら全体としてはまとまった提案であり、研究代表者のこれまでの実績も評価すると一定の成果が期待でき、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>